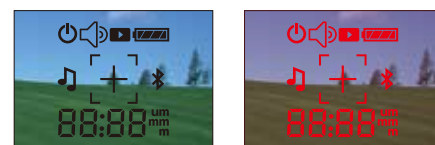


透明

■ 鮮やかな自発光表示と、非表示時の優れた透明性の両立

当社OLEDを用いることで自発光ならではの鮮やかな表示が実現でき、バックライト・サイドライトによる背景の着色や暗所コントラストの低下がありません。

■ 透明ディスプレイの課題



バックライト・サイドライトによる背景の着色

非表示時
パターンが見える



■ 当社OLEDの場合



鮮明表示

(塗り分け+光学設計)



非表示時
パターンが見えない

透かして見える、未来のディスプレイ。

マルチカラー対応透過型OLED

卓越した蒸着技術と光学設計技術により優れた透過性能を実現。背景の視認性を損なうことなく、多彩な情報を背景に重ねて表示できます。

■ マルチカラー対応、特殊配線構造などにより点灯意匠の自由度を向上

自発光素子であるOLEDの特徴と当社の高精度蒸着技術を活かし、透過型LCDでは難しかったマルチカラー（多色）表示も対応可能です。また、独自の配線構造の採用により、入れ子構造になったキャラクタ表示においても外周キャラクタを切断することなく独立点灯が可能となりました。デザイナー様の意図通りの表示デザインが可能となります。



透明

■ お客様機器の内部構造スリム化・光学設計省力化に貢献

従来のLCDを用いた透過・発光表示では、ファインダー光路外にバックライトと組み合わせて表示デバイスを配置するため、周辺部品点数が多いうえ投影表示のための光学系を機器内に組み込む必要があり、内部構造の複雑化・肥大化に繋がっています。

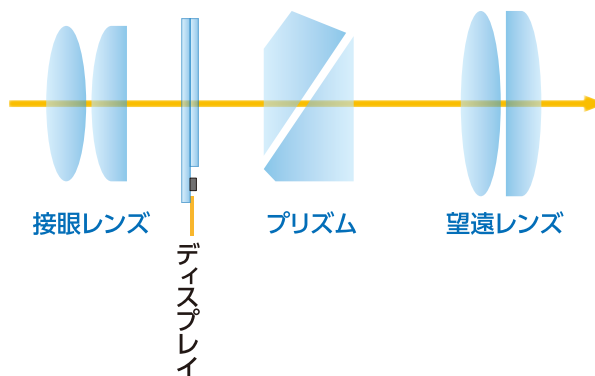
バックライトを用いず透過・発光表示が可能な透過型OLEDデバイスは、ファインダー光路上に直接組み込むことで投影用光学系を省略可能なため、組み込み機器の内部構造を大幅に簡略化・スリム化できるだけでなく、内部光学設計の省力化にも貢献します。

高性能をシンプルに実現。

透過型OLED

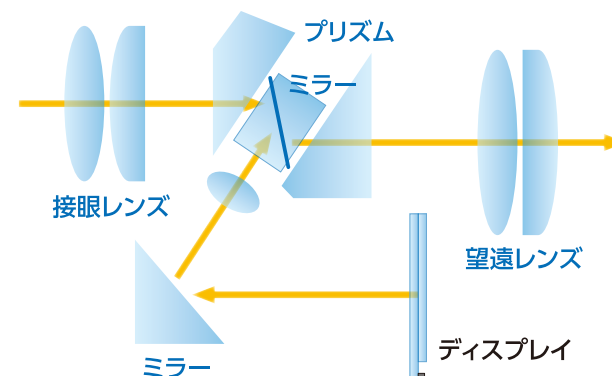
自発光デバイスであるOLEDだから成し得る、付加部品無しでの「透過・発光表示」の両立。シンプルな構造でありながら、お客様機器に大きな価値を提供します。

■ 透過型構造例



光学系がシンプル

■ 投影型構造例



光学系が複雑